

分野	開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例	出典	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
								国名	案件名	評価年度
母子保健	1-1 妊産婦の健康の改善	1-1-1 安全な出産	1-1-1 安全な出産	産婦人科施設・ 機材	運用指標 基本 ①帝王切開の件数/年(*1) ②婦人科手術の件数/年(*1) ③分娩数 ④必要な時期に必要な回数の健診をすべて受けた母子の数(または率) 補助 ①対象地域における施設分娩率(保健/病院統計の存在が前提) ②ハイリスク分娩実施数(吸引、鉗子等)/年 ③産前・産後の健診受診者数/年(*2) ④産前・産後健診数(*2) ⑤ハイリスク分娩のリファーマ数(*3) ⑥超音波診断件数	左の運用指標3項目は、分母の設定が難しいため、率で出すことは一般的に困難。人口増加率等を加味しつつも、手術件数や健診数の増加 ハイリスク出産への対応(&予防)数の増加とみなすことが、ほぼ可能。対象地域=病院がカバーするエリア、市など。ただし一般的に用いられる妊産婦死亡率は出生10万対で出すことから、出生数及び妊産婦死亡の実数が少ない場合、変化を見る有意な統計として扱えないことが多い。ただし高ければよいわけではなく、状況に応じた適切な目標を定める必要がある。 (*1)手術室のある二次病院以上にしか適用できない。保健センター・保健ポストレベル(いわゆる一次レベル)であれば、分娩数や産前検診数を基本指標とすることが考えられる。 (*2)一次施設の整備の指標として用いるのが適当。 (*3)「ハイリスク分娩のリファーマ数」については、三次病院以上の場合、下位にある二次病院の機能が先方の自助努力で強化された場合、三次病院へのリファーマ数が結果として下がることもあるため、数値が下がっている場合はその背景についても確認する。	ベトナム	国立産婦人科病院機材整備計画	2009年	
					効果指標 補助 ①対象地域における妊産婦死亡率(保健統計の存在が前提)		コンゴ民	キンシャサ大学病院機材整備計画	2010年	
母子保健	1 母子の健康状態の改善	1-2 乳幼児の健康の改善	1-2-1 施設における新生児と乳幼児のケア	新生児室/小児科の施設、機材	運用指標 基本 ①新生児集中治療室の患者数 ②小児科での手術件数 ③小児科外来患者数	三次医療施設の場合、本来、一次医療施設で対応可能な外来患者が増え、三次病院が適切に機能しなくなる場合もありうる点に留意。	ミャンマー	中部保健施設整備計画	2011年	
					効果指標 補助 ①対象地域における乳児死亡率(保健統計の存在が前提) ②対象地域における5歳未満児死亡率(保健統計の存在が前提)		中国	湖南省環境整備・生活改善事業(有償)	2002年	
							中国	湖南省環境整備・生活改善事業(有償)	2002年	
							インドネシア	貧困削減地方インフラ開発事業(有償)	2006年	
							バングラデシュ	母子保健改善事業(保健・人口・栄養セクター開発プログラム)(フェーズ1)(有償)	2011年	
							イラク	保健セクター復興事業(有償)	2012年	

分野	開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例	出典	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
								国名	案件名	評価年度
母子保健		1-2 乳幼児の健康の改善	1-2-2 乳幼児の感染症予防	予防接種のためのワクチンおよびコールドチェーン機材（冷蔵庫、コールドボックス、ワクチンキャリア等）	運用指標		機材整備のみでは接種率は上がらないが、整備により、適切な温度管理の元でワクチンの保管・運搬がなされ、廃棄率が下がることが直接的な成果となりうる。予防接種は人員体制、実施予算の有無に加え、地域の文化的要素（ジェンダーなど）に左右される部分が大きく、機材整備のみでは接種率は上がらないが、これらが揃えば罹患率、死亡率の指標も有効となりうる。 (*) 当該ワクチンについて当該国で廃棄率目標が定められている場合には、実績と比較することも可能。	マダガスカル	予防接種拡大計画	2008年
					効果指標			基本 ①1歳未満児予防接種率(平均値) ②対象地域におけるDPT含む混合ワクチンの三回接種率(%) ③中央から地方へのワクチン運搬回数(回/年) ④対象地域のワクチン廃棄率(廃棄数÷調達数)(*) ⑤対象地域のコールドチェーン普及率(温度管理システム導入率)	ウガンダ	予防接種体制整備計画
					基本 ①対象地域における5歳未満児の予防接種対象感染症の罹患率(%) 補助 ①対象地域における乳児死亡率 ②対象地域における5歳未満児死亡率					

分野	開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例	出典	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
								国名	案件名	評価年度
感染症対策				検査室整備（バイオセーフティレベル（BSL）3）	運用・効果指標 基本 ①インフルエンザ、HIV、AMRやその国の疾病負担となっている疾患について、検査室診断における確定診断数の増加や検査時間の短縮を指標に入れる。 【例】IHR 10 core testから抜粋 ・インフルエンザのPCR検査：24時間以内に完了 ・HIVの血清学的検査：5日以内完了 ・サルモネラ菌細菌培養検査：3日以内 ②BSL3検査室を用いた研究プロジェクト数 ③BSL3検査室使用許可者数または、対象職種で許可を受けた者の割合 補助 ①バイオセキュリティ/バイオセーフティに関する規程が必要に応じて改訂されている。 ②バイオセキュリティ/バイオセーフティの認定を（資格を持った民間企業等から）規定の頻度で受けている。 ③情報セキュリティ（病原菌や毒素の在庫一覧などへのアクセス）が定められたとおりに管理されている。	基本 ①IHR, JEE page 36 D.1.1 2. 補助 ①JEE page 24 P.6.1 2. a. ②JEE page 25 P.6.1 2. c. iv., P.6.1 3. f.,g.,h. ③JEE page 25 P.6.1 3. b.	可能な限り、WHOの国際保健規則（IHR: International Health Regulations）（2005）に基づく"Checklist and Indicators for Monitoring Progress in the Development of IHR Core Capacities in States Parties (2013)"や"Joint External Evaluation (JEE) Tool (2016)"などの国際的スタンダードに合わせ、アウトプット以上の成果を求める指標とする。 BSL3と2の検査室整備の基本指標①については、アウトブレイクが起きないと検査数が大幅に増加しないものは対象から除外し、アウトブレイクとは無縁で常に一定程度発生しているものの、検査施設の未整備により現状では確定診断されている例が少ない疾患を特定したうえで指標を設定する。 なお、基本指標・補助指標ともに、資金協力事業のみでは達成が難しい場合が想定されるものの、整備された施設・機材の有効利用という観点からはいずれも重要な指標であるため、これらの指標の達成に向けて必要なソフトコンポーネントや技術協力を併せて行うことを積極的に検討する。 特に、BSL3の検査室整備における補助指標①～③、及びBSL2の検査室整備における補助指標①に関しては、国全体の法整備がされたうえで施設固有の運用基準等が定められることが望ましいが、これが難しい場合には施設レベルにおける規定のみでも可とする。	コンゴ民主共和国 ナイジェリア ガーナ	国立生物医学研究所拡充計画 ナイジェリア疾病予防センター検査機能強化計画 野口記念医学研究所先端感染症研究センター建設計画	2017年 2018年 2016年
				検査室整備（BSL2）	運用・効果指標 基本 ①BSL3検査室整備の基本指標の① 補助 ①バイオセーフティに関する規程が必要に応じて改訂されている。 ②海外も含めた上位機関との間での外部精度管理が確立している。	基本 ①IHR, JEE page 36 D.1.1 2. 補助 ①JEE page 25 P.6 1 2. b. ②JEE page 36 D.1 1 4.		ホンジュラス共和国	保健サーベイランス国立研究所建設計画	2016年
				検査室整備（レファラル体制の整備）	運用・効果指標 基本 ①公衆衛生検査室として機能する検査室の数がxである。 ②検査のレファラルが整った疾患の種類がxである。 補助 ①疾患疑い患者数のうち、公衆衛生検査室へ検体が搬送された患者数の割合がx%である。 ②国家検査室から検査結果（定期報告書なども含む）を通知した検体の割合がx%である。 ③外部精度管理が実施されている検査室の割合がx%である。	基本 ①オリジナル ②JEE page 36 D1.1 2. 補助 ①JEE page.36 D.1.2 2. ②JEE page 37 D.1.4 ③IHR page 42 Appendix 12.1		ナイジェリア	ナイジェリア疾病予防センターネットワーク検査室機能強化計画	（協力準備調査中）

分野	開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例	出典	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
								国名	案件名	評価年度
感染症対策	1 HIV/AIDS対策	1-1 HIV感染予防	1-1-1 検査体制の強化および検査へのアクセス向上	HIV迅速検査キット	運用・効果指標 基本 ①対象地域におけるHIV検査受検者数 補助 ①対象地域にて迅速診断検査実施の研修を受けた人数（現在、"lay provider"による検査実施がWHOガイドラインでも推奨されている）		なお、JICAの資金協力事業における「インパクト指標」「アウトカム指標」は、感染症分野における国際的な定義と必ずしも一致していないことに留意。 補助指標は、資金協力事業のみでは達成が難しい場合が想定されるものの、整備される検査キットの有効利用という観点からは重要な指標であるため、指標の達成に向けて必要なソフトコンポーネントや技術協力を併せて行うことを積極的に検討する。	ケニア	HIV・AIDS対策計画	2014年
					効果指標 基本 ①対象地域におけるAIDS治療患者数（人/年）（ただし、インパクトレベルとして設定するかアウトカムレベルとして設定するかは内容・規模に応じて選択する必要がある（定性的指標とすることも検討する））					
感染症対策	1 HIV/AIDS対策	1-2 HIV/AIDS治療	1-2-1 医療機関におけるHIV/AIDS治療の体制強化	関係機材（CD4カウンター等）の設置（病院機材の一つ）	運用指標 基本 ①CD4カウンター稼働数（回/年） ②ウイルス量測定機器稼働数（回/年）		治療は、ARV（抗レトロウイルス薬）が適切にストックされていることが前提。			
					効果指標 基本 ①ウイルス量測定で治療の管理が行われている例数					
結核対策	2 結核対策	2-1 実施能力の向上	2-1-3 ロジスティック能力の強化	抗結核薬および結核検査用試薬類	運用・効果指標 基本 ①整備内容により以下を選択（1. 塗抹検査陽性例数、2. 遺伝子診断陽性例数） ②診断例のうち治療を受けた例の割合（基本的に100%） ③治療成功率（ただし、インパクトレベルとして設定するかアウトカムレベルとして設定するかは内容・規模に応じて選択する必要がある（定性的指標とすることも検討する））		DOTS実施には抗結核薬、検査用試薬等の供給、技術者の存在が前提。また、新規患者（陽性発見数）、再発登録数などはDOTSの適切な実施により増加する機会が多い。 なお、JICAの資金協力事業における「インパクト指標」「アウトカム指標」は、感染症分野における国際的な定義と必ずしも一致していないことに留意。	ミャンマー 中華人民共和国	結核対策薬品機材整備計画 第三次貧困地域結核抑制計画	2010年 2008年
					効果指標 基本 ①ラボにおける培養件数（and/or 薬剤感受性検査件数） ②生物学的診断が確定した薬剤耐性患者発見数 補助 （いずれも薬剤耐性結核対策実施能力の向上とは直接的に関係しない） ①病床稼働率（%） ②画像検査数/年（レントゲン機器整備の場合）					
結核対策	2 結核対策	2-2 薬剤耐性結核対策実施能力の向上	2-2-2 多剤耐性結核対策能力（診断、研究、治療）の向上	結核病棟整備、結核培養室の設置	運用指標 基本 ①ラボにおける培養件数（and/or 薬剤感受性検査件数） ②生物学的診断が確定した薬剤耐性患者発見数 補助 （いずれも薬剤耐性結核対策実施能力の向上とは直接的に関係しない） ①病床稼働率（%） ②画像検査数/年（レントゲン機器整備の場合）		培養件数の増加→ラボにおける診断能力の向上につながる。	アフガニスタン	感染症病院建設計画	2010年
					効果指標 基本 ①対象病院における治療患者数（病院整備の場合） ②薬剤感受性試験の外部精度管理上の熟達度（proficiency 95%以上）（ラボ整備の場合）					

分野	開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例	出典	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件			
								国名	案件名	評価年度	
感染症対策	3 マラリア対策	3-1 マラリア感染予防	3-1-1 感染経路・感染源対策の強化	長期残効型蚊帳(LLITN)薬剤キット	運用指標		Global Fundによる指標から作成。各家庭へのLLITN配布が前提だが、各家庭に二帳以上なければ妊産婦と乳幼児がITNを使用できない場合も多いためこれをまず①でフォローし、実際の使用状況を②でフォローする。	ザンビア	マラリア対策計画	2006年	
					効果指標					基本 ①対象地域におけるマラリア罹患数 (and/or 死亡数) /年	2003年
		3-2 迅速診断および治療体制の強化	3-2-1 検査・診断能力の向上	迅速診断キット 顕微鏡及び関連器材	運用・効果指標	基本 ①一次医療施設におけるマラリア迅速診断実施数/年 ②一次医療施設における顕微鏡診断実施数/年		地域住民にとってアクセスの良い一次医療施設での迅速診断の実施により迅速治療へつなげることが出来る。また、現実的に診断を受けずに治療を受けている人が多く、不必要な治療・誤診等が多いが、迅速診断の普及によりこれが改善される。ただしこれにより患者数、感染者数が増える傾向にある。	ニジェール	マラリア対策計画	2008年
					効果指標						補助 ①マラリア治療者のうち診断が確定している人の率
		3-2-2 適切な治療のための体制強化		治療薬 医薬品運搬車両	運用指標	基本 ①治療患者数 (治療薬使用数) ②対象地域で治療薬がストックアウトした施設の割合		死亡率低下のためには迅速治療が必須であり、このためには医薬品へのアクセス向上がカギ。これにより治療数が増加する。	ミャンマー	マラリア対策計画	2008年
					効果指標						基本 ①対象地域のマラリア死亡率

資金協力事業/開発課題別の指標例（保健・医療）

分野	開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例	出典	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
								国名	案件名	評価年度
保健システム	1 保健人材の量と質の改善	1-2 質の高い医療従事者の養成	1-2-1 パラメディカルスタッフ（看護、助産、臨床検査、放射線技師等）の養成の量と質の向上	人材養成校の施設・機材	運用指標 基本 ①(新設の場合)入学者数、卒業者数、授業数 ②生徒一人当たりの教室の床面積 補助 ①教員一人当たりの学生数 ②生徒一人当たりの教材数 効果指標 基本 ①質の高い教育を受ける保健人材数(人/年) 補助 ①対象学校卒業生の国家資格合格率		人材校の施設・機材整備案件は、老朽化あるいは手狭になった学校の増改築と実習機材の整備が一般的であり、直接的な効果は学習環境の向上である。これにより質の高い教育を受けられる前提条件が整う。	ニカラグア コンゴ民	看護教育機材整備計画 キンシャサ保健人材センター整備計画	2009年 2011年
			1-2-2 新任および現任医療従事者の技術力の向上	医療施設における実習設備と機材	運用指標 基本 ①医療施設における学生の実習回数(回/年) ②医療施設における現任医療従事者の実習数(人/年) ③医療施設における実習生の受入数(人/年)		病院等の実習環境（分娩室や手術室の見学スペース、実習用機材など）の整備により、実習生の受入数を増加することが出来る。	ザンビア	ザンビア大学付属教育病院医療機材整備計画	2009年
	2 保健サービスへのアクセス向上	2-1 医療施設へのアクセスと提供サービスの向上	2-1-1 二次・三次医療サービスの質と量の向上	病院建設および機材	運用指標 (*1) 基本 ①病床数(床) ②検査件数(件/年) ③手術件数(件/年) ④外来患者数(人/年) ⑤入院患者数(件/年) 補助 ①医療機関までのアクセス時間 ②下位医療施設からリファーされた患者数(人/年)(*2) ③上位医療施設の混雑(待ち時間)の減少		「病床数」については、既存病院で基準以上にベッドを詰め込んでいる場合もあるので、基準に照らして適当な床数になったかどうかで判断する必要あり。 「検査件数」とすると、画像診断（X線、超音波など）と生化学（血液検査、尿検査など）のうち何を指しているのか不明であり、予め、定義しておく必要あり。 「検査件数」については病院の機能によってカバーされる検査の種類は違うため、検査の種類に応じてそれぞれ検査件数を設定するのが適切である。なお、無償資金協力による機材案件の場合には、X線装置、内視鏡など整備機材を使用した検査数などが指標例になった事例あり。 (*1) 本項目は因果関係の検証が困難なため、効果指標の設定には一定の困難性が伴う場合が多い。検討の結果、指標設定が困難と判断される場合は、必ずしも効果指標を設定しない場合もあり得る。 病床数や手術室の増加と、老朽化・故障した機材の更新により、検査・治療体制が改善される。 (*2) 二次病院整備の結果、一次医療施設からのリファー患者の受け入れおよび直接三次病院の外来を訪問していた患者の受け入れにより、近隣の三次病院の混雑緩和につながる。 三次病院以上の場合、下位にある二次病院の機能が先方の自助努力で強化された場合、三次病院へのリファー数が結果として下がることもあるため、数値が下がっている場合はその背景についても確認する。	フィリピン ベトナム イラク	オーロラ記念病院改善計画 地方病院医療開発事業（I I）（有償） 保健セクター復興事業（有償）	2009年 2011年 2012年

資金協力事業/開発課題別の指標例（保健・医療）

分野	開発戦略目標(*)	中間目標	中間目標のサブ目標	インフラ種別	指標例	出典	指標作成方針・方法	同インフラ種別毎の参考案件		
								国名	案件名	評価年度
保健システム	2 保健サービスへのアクセス向上	2-1 医療施設へのアクセスと提供サービスの向上	2-1-2 一次医療サービスの質と量の向上	コミ開による一次保健施設の整備	運用指標		(*) 一次医療施設に医療人材と医薬品が配備されていることが前提。 妊産婦死亡、5歳未満児死亡の減少のためには、高次レベル病院への緊急搬送手段があることが必須な場合が多い。	ガーナ	アッパーウエスト州地域保健施設整備計画	2012年
					効果指標					
		2-2 救急医療体制の強化	2-2-1 救急時の搬送体制および受入態勢の向上	救急車整備 病院の救急部門の機材、施設	運用指標		住民の救急車の認知度が高まり、緊急搬送時に適切に使用されるようになる。受け入れ病院側のデータ測定と救急車の出動件数の両方から見る。 (*) 救急ステーション毎にカウント。	シリア	救急医療整備計画	2008年
								アルバニア	救急医療機材改善計画	2009年

(*)開発戦略目標で、資金協力で該当案件がないものは除外。その他該当しない中間目標、サブ目標も除外している。